



2013年1月7日発行

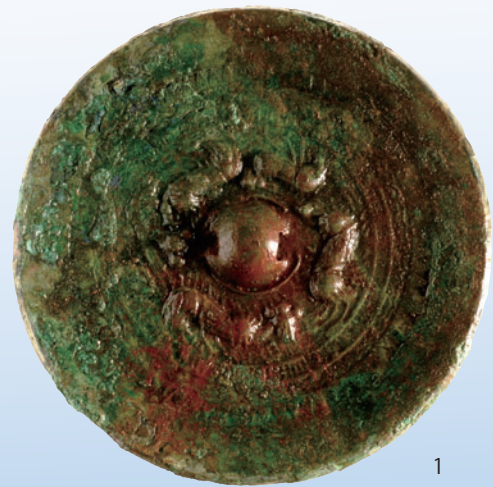
～6世紀前半の四獣鏡や銅釧など豪華な副葬品が出土～

伊賀市東条 東条1号墳

伊賀市東条地内における県営地すべり対策事業に伴い、新たに6世紀前半の古墳が見つかりました。工事に合わせて発掘調査を実施したところ、遺体を納めた埋葬施設が3基あることが分かりました。そのうち1基は横穴式石室、2基は木棺(割竹形木棺)を納めたものであることが判明し、木棺のうち1基からは四獣鏡・銅釧・ヒスイ製勾玉・メノウ製勾玉・碧玉製管玉・ガラス製小玉および粟玉・刀子・須恵器が、もう1基からは鉄刀・刀子・須恵器が出土しました。この古墳は直径約10mの円墳と考えられ、規模は小さいものの、豪華な副葬品の出土には調査員も大変驚きました。

この古墳近辺には、三重県最大の前方後円墳である御墓山古墳(5世紀)、伊賀国府跡(奈良・平安時代)をはじめとした重要な遺跡が多数あり、東条1号墳はこの地域を支配していたと考えられる阿閉氏に関する人物が葬られた古墳と考えられます。

12月16日には現地説明会を開催し、230人ほどの方が参加され、木棺跡や出土品をつぶさに観察していただきました。



1



3



4



5



6



2

1. 銅鏡 (四獣鏡)
2. プレスレット (ガラス製小玉)
3. ネックレス (勾玉・碧玉製管玉)
4. プレスレット (銅釧)
5. 勾玉 (メノウ製)
6. 勾玉 (ヒスイ製)



1. 遺物出土状況を実測中
2. プレスレット(ガラス製小玉)の出土状況
3. 銅鏡、管玉の出土状況
4. 鉄刀、須恵器の出土状況
5. 2基の埋葬施設
6. 古墳からの眺望
7. 現地説明会



編集後記
 新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。
 昨年はずいぶん新発見ラッシュでした。今号はそのひとつ、東条1号墳(伊賀市)の調査速報を特集しました。今年も多数の調査が予定されていますので、さまざまな成果をお伝えできそうです。ご期待ください(T)